

げんき

八王子センター元気広報



発行：八王子センター元気
(八王子市高齢者活動コーディネートセンター)

代表：伊藤 涼子

〒192-0062 八王子市大横町 11-35

大横保健福祉センター 3F

TEL/FAX：042-627-9179

<http://homepage3.nifty.com/centergenki/>

第7回 三者懇談会まもなく開催

10月3日（金） 北野市民センター 会議室

☆特技を持った高齢者（講師・技能ボランティア） ☆それを必要とする団体（施設等）
及び個人 ☆双方の仲介及び相談業務にあたるコーディネーターの三者が一堂に会する

平成26年10月3日（金）、午後1時30分より北野市民センター会議室で、久しぶりに三者懇談会を開催します。

三者懇談会の『三者』とは、①八王子センター元気に「技能ボランティア・講師」として登録された、特技や貴重な経験をお持ちの高齢者ボランティアの方（『登録ボランティア』） ②この登録ボランティアの活動を活用される利用者の方（施設等の団



第6回 三者懇談会（1）

体・個人）、そして、③両者を仲立ちする八王子センター元気のコーディネーターの三者を指します。

この懇談会では、三者の自由な情報交換を通じて、相互の理解を深めるとともに、相互の活動支援、お互いの要望事項等を率直に語り合う場を提供したいと考えております。

この懇談会は、平成16年9月に開催された『講師・コーディネーターとの意見交換会』（二者懇談会）を初回として、以降、二



第6回 三者懇談会（2）

者懇談会あるいは三者懇談会として発展してきましたが、平成24年、25年と休会し、今回久しぶりに開催することとなりました。これまでと同様、忌憚のないご意見をいただき、今後のボランティア活動の充実、施



第6回 三者懇談会（3）

設活動の一助及びコーディネーター活動の向上にお役に立つような懇談会にしたいと考えております。

柴田 忠寛 記



「むかし若ものふれあい作品展」11月11日～

出展施設の意気込みなどを聞きました！

特別養護老人ホーム小松原園



当園では、毎年特養の方とデイサービスの方が、それぞれ思い思いの作品を作り、一緒に同じブースに展示させて頂いております。日頃から、定期的に特養の方とデイサービスの方が交流されており、作品展に関しても、お互いにどんなものを作っているのか、どんな作品を出展しているのかを見ながら、刺激を受けて毎年制作に励んでいます。今年も気合を入れて出展に向けて頑張っておりますのでよろしくお願いします。

在宅サービスセンター中野



毎回作品展に参加させて頂いております。回を重ねるごとに素晴らしい作品が多くなってきているように感じます。当施設の利用者様も刺激を受け「次はこんなものもいいわね」「どうやって作るのかしら」と意欲満々です。作品展が終わると、もう次の作品作りに生き

がいを感じている方もいる程です。毎年準備等に変なことはありますがこれからもぜひ、続けて頂ければと思います。

デイサービスセンター 八王子心成苑



デイサービスセンター八王子心成苑では、第1回から参加させて頂いています。普段行っているクラブ活動の個人作品や合同作品等、日頃の成果を発表する場を設けて頂けることに、スタッフをはじめ利用者自身がやりがいを感じて作品作りに励んでいます。合同作品では、「出来る事を出来る方に」をモットーに多くの利用者に参加して頂けるよう工夫しています。利用者と家族で観覧に行き、「他の施設の作品を見て勉強になった」、「皆、すごく素敵な作品を作っているので感動した」等、外部との繋がりも感じられている様子でした。

多摩特養老人ホーム



第6回目を迎える「むかし若ものふれあい



作品展」へ今年度も出展出来る事が決まり大変喜ばしく思います。特別養護老人ホームで生活されている皆様が介護等体験で来所する大学生の力を借り、施設職員との協働作業により作品を完成し出展致します。

初音の杜・偕楽園ホーム



製作をはじめめる段階でご利用者によって作業に取り組める度合いが皆様違うため、それぞれの方が作業に参加できるようにするには、何を作って頂くかどういった流れで作って頂くかを考える事が悩みどころです。今年で二度目の参加になります。ご利用者が作品展をご覧になったとき、笑顔で喜んでいただけるように職員一同知恵を絞りたいです。

ファミリーマイホーム デイサービスセンター



作品展参加は、デイサービス利用者の大切な発表の場となっています。「指先がしびれて和紙がちぎれないよ」、「細かい花がピンセットではさめないなあ」、「私があなたの目になってやるよ、だから、がんばりや！」助け合いながらひとつの作品になる。笑って、泣いて、みんなのアイディアを出し合いながら完

成した作品をどうぞお楽しみください。きっと、作品からのメッセージが聞かれると思います。

グループホームほのぼの



18名の高齢者が入居しているグループホームほのぼののです。「世界遺産」にも登録された雄大な富士山をちぎり絵で描こう！！と、入居者さん同士で決め、ボランティアさんと作品作りに励んでいます。入居者さんから、「沢山のお客さんに観てもらって、綺麗だねって言われるように頑張るよ」と、心強いお言葉をもらいました。

南大沢ホロス由木



入所施設、通所施設をご利用の方々に協力していただき作品を作っています。折り紙やクレヨンを使ったカレンダー作りや季節の花などを色紙で作成しています。クレヨンが懐かしいと楽しんでくださっている方もいれば、夢中になって作ってくださる方もいます。皆で協力し合って作ってくださる場面もあり、楽しそうで仲間に入りたくくなりました。



ボランティア活動の紹介

社会福祉法人 清心福祉会
ファミリーマイホーム デイサービスセンター

小糠雨の降る8月28日、16号線の左入町交差点を滝山街道に入って直ぐ左側にある、ファミリーマイホームデイサービスセンターを取材のため訪問した。相談員の富田様は明るい笑顔で取材を受けてくれました。

訪問時、利用者様の表情が非常に明るいのと、職員の方々の笑顔に迎えられて、何か特別な理由があるのかを尋ねてみました。富田様は、「一日一回大笑い」をモットーに、職員が笑顔だと自然に利用者の皆様も楽しくなるのでしょ、と笑って答えられた。今回の取材で一番心に残った言葉であった。

デイサービスセンターの受入れ定員は30名で日々多くの利用者様の方々が楽しくお過ごしとのこと。職員が特に留意している事は、健康管理。日々の健康チェックやご様子など小さな変化にも気づき、生活リハビリや体操などを通し日常動作の維持に力を注いでいるとのこと。また、1日のプログラムの中で静

と動の活動を盛り込み、利用者様の興味を引き出しながら楽しんで取り組めるよう心がけているそうである。



出来上がった作品

デイサービス入口や室内には、皮工芸の作品、ちぎり絵、折り紙、押し絵など様々な作品が飾られていて明るい雰囲気をかもし出し、あちらこちらで談笑を楽しむ明るい笑い声が響いていた。

清心福祉会は、30年前に保育園から始まり、19年前に特別養護老人ホームファミリーマイホームとデイサービスセンターが開設されたそうで、歴史の重さが感じられる施設である。「利用者様の心に寄り添い、お望みのサービスを提供する」という基本方針が、利用者様の心をほぐし、明るく楽しい雰囲気を作り出しているのであろう。本当に気持ちの好い雰囲気だ。

取材後、折り紙の仲間に入り、利用者様と楽しい時を過ごさせていただいた。お別れの時に、「また来てね！」の言葉を背にして、暖かさに包まれて帰路についた。ありがとうございました。

北原 勲 記



皆さんで折り紙を学ぶ

センター元気事務所運営日追加のお知らせ

増大する業務量への対応と利用者様への利便性向上のため、試行的に下記の通り事務所運営日を追加します。

●平成26年10月から
毎週 月・水・木・金曜日の週4日

●平成27年1月から
毎週 月～金曜日の週5日

運営時間は従来通り毎日午前10時から午後4時まで。
年末年始、祝祭日は曜日に係わらず休みです。

お知らせ

- 10月3日(金) 三者懇談会(北野市民センター)
- 10月21日(火) 定例会(北野市民センター)
- 11月11日(火)～14日(金)
むかし若ものふれあい作品展(いちょうホール)
- 11月18日(火) 定例会(北野市民センター)
- 12月8日(月) 傾聴ボランティア懇談会
(八王子商工会議所)

